



拝二小だより

～ かけはし ～



昭島市立拝島第二小学校

令和8年1月30日

No.10

節分には鬼退治！

校長 小川 広樹

大寒の候、保護者・地域の皆様には御健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、二十四節気では2月4日に立春を迎えます。冬と春の節目、暦の上で春に入る日とされています。暦の上では寒さの頂点となり、翌日以降の寒さを「残寒」または「余寒」と呼びます。寒さに負けず健やかに過ごしたいものです。

立春の前日（今年は2月3日）は「節分」です。昔は、季節が切り替わるときには悪いもの、すなわち鬼が入り込むと考えられていました。この鬼を追い払うために平安時代頃の宮中では「鬼やらい」という行事が行われていたようです。これが現代の節分の豆まきの原形といわれています。「節分」という言葉も、立春の前日の節分だけを表わすようになりました。

豆まきには、「福豆」を使います。豆まきの後にはこの福豆を頂いて福を呼び込みます。最近では福豆よりも「恵方巻き」の方がメジャーかもしれません。今年の恵方は南南東（やや南寄り、方位165度）です。拝島第二小学校から見ると昭島駅の方でしょうか。恵方は、その年の福德を司る「歳徳神（としとくじん）」がいる方角です。節分に恵方巻きを「恵方を向く」「切らずに丸ごと一本」「無言で願い事をしながら」「食べ終わるまで口を離さない」ように食べることで願い事がかなうとされる風習です。



さて、学校では、鬼退治をしたり、福を呼び込んだりするために、自分自身を振り返る活動を行うことがあります。自分の中の「さぼり鬼」「悪口鬼」「忘れ物鬼」などの鬼を退治し、友達と仲良くしたり、勉強を頑張ったりして笑顔になり、自分自身で福を呼び込むことを考えます。「笑う門には福来る」とも言います。今年の目標にもつながる活動です。おうちでも話題にしてみてください。

また、2月6・7日には音楽会を開催します。2学期末から練習してきた発表曲も随分と上達してきています。今年のテーマは「Happiness～心に響く音色を届けよう～」です。お忙しい中とは存じますが、ぜひ御来校いただき、子供たちの合唱・合奏等をお楽しみください。

ドーナツ池にはしっかりと氷が張っています。1月下旬には最強・最長の居座り寒波が列島に襲来し、日本海側では大雪となっています。太平洋側では空気がとても冷たく、乾燥しています。まだまだインフルエンザなどの感染症の心配な季節は続きますので、手洗い、うがい、水分補給、歯磨き、咳エチケットなど、対策を万全にお過ごしください。



おしらせ

2月の生活目標

「寒さに負けない強い体をつくろう」

寒い日が続いています。空気も乾燥し体調管理がより一層大切な時期になりました。そこで学校では「外遊び」を勧めます。それは「寒さに負けない強い体をつくるために大切なこと」だからです。また、「手洗いの励行などウイルスから自分を守ること」も伝えていきます。

御家庭でも、家から出て運動するように声をかけたり、一緒に運動したりしてください。また、「手洗い・マスク・咳エチケット」についての声かけもお願いします。共に協力して、お子さんを寒さに負けない強い体に鍛えていきましょう。

